
特定非営利活動法人 わおん

平成 28 年度 事業計画書案

平成 28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日

2016/04/10

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

特定非営利活動法人 わおん♪

〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL/FAX : 0263-87-3005

E-mail : waon@ac.auone-net.jp



♪わおんのミッション

子どもたちがもっと元気に輝く地域をめざす

♪平成 28 年度の重点目標

①森カフェプロジェクトをわおん♪の今後のメイン事業にできるように注力する

(数値目標：事業収入 18.5 万円→30 万円、参加者数 305 人→500 人)

②県外からのキャンプの受け入れ態勢づくりと営業活動

(数値目標：県外キャンプ担当コーディネーター 2 名)

♪重点目標に対する具体的な取り組み

①：ハイジの森でのセミナー・イベントを企画（里山子育て・子育てセミナー等）

元気づくり支援金を活用し、里山子育て・子育てセミナー及びに、イベントを開催する

定期的なイベントとして、ハイジの森探検隊を検討

その他、昨年度からアイデアのあがっていた企画の実施検討

森のコンサート、薪や炭づくりから販売まで、大人が楽しめるイベント

コーヒーや料理等、喫茶店と森カフェのコラボも検討する

：森カフェコーディネーター養成講座の実施

森カフェ開催のテキストを活用し、森カフェを実施する人を養成

塩尻市に限らず、他地域での開催を目指す

：出張森カフェの開催

社寺林や果樹園、公園、里山などの身近な自然の中での森カフェを実施

他団体とのコラボも検討

例：食育グループ、アルプス、ヒッポファミリークラブ、青い空…

②：キャンプの受け入れ態勢づくり

自然探検隊やネイチャーキッズの際に、コーディネーター・ファシリテーターの役割をサポートズにお願いしていく

：営業活動

地域おこし協力隊の方との連携により、都市部での参加者集めについて検討する

イベント会社との連携についても模索していく

子どもたちがもっと元気に輝く地域に



♪平成 28 年度事業計画

(1) 環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊（子どもゆめ基金助成事業）

例年と同様に塩尻市小曾部の柏茂会館とその周辺を会場にして実施

4月～11月に計7回開催

対象：塩尻市周辺の小学3年生から中学生

わおん♪自然探検隊検定を兼ねる

1-2 ハイジの森探検隊（仮）

自然探検隊よりも低年齢層と保護者を対象とした自然体験イベントを検討

隔月で開催を検討する

対象：未就園児とその保護者

1-3 森カフェプロジェクトの実施（ハイジの森）

塩尻市小曾部にあるハイジの森を会場に実施

27年度から参加費を徴収（一般500円／会員200円 ※2歳未満は無料）

水曜日と土日を中心に、月2～3回程度開催予定

里山のクリスマス会、アウトドアクッキングなどの森カフェイベントも開催

元気づくり支援金助成事業の一環として、森カフェと癒しのコラボイベント

（里山子育て・子育て実践イベント）の開催も検討する

対象：未就園児とその保護者、森カフェ開催に関心があるシニア

※イベント対象者はイベントにより異なる

1-4 県外の子どもたち向けのキャンプ実施

ネイチャーキッズ教育支援協会長野より受託

横浜から2泊3日のキャンプを2回、柏茂会館を会場に受け入れする

他にも同様のキャンプの受け入れを模索していく

1-5 塩嶺体験学習の家／受託

塩尻市教育委員会より受託

体験学習フェスティバル、こども未来塾リーダー研修の運営

塩嶺体験学習の家のブログの更新

塩嶺体験学習の家に関わるコーディネート業務



1-6 こども塩尻の開催／受託

塩尻市（交流支援課）より受託

子どもたちが地域に関わるきっかけをつくることを目的に開催

平成 29 年度からは子ども自身が企画に関わり、こども議会へとつながるような運営方法を模索していく

12 月 10 日（土）11 日（日）に開催

対象：基本的に塩尻市内の小学 3 年生から中学生（100 名程度）

1-7 出前イベント／受託

児童館や PTA などからの依頼を受けて実施

自然体感プログラム、出張森カフェ、昔あそび体験、出張げんすけを実施

依頼数が減少気味のため、パンフレット、ホームページ、名刺にて PR する他、関係部署への営業をおこなう

（2）体験事業に関わる普及交流事業

2-1 げんすけ祭り

例年と同様に 2 月に、えんぱーくにて実施

地域で活躍する方によるブース出展の他、わおん♪こどもリーダーによるブース企画、わおん♪の紹介ブースを設置

パートナーとの企画会議を実施するとともに、収入を増やす工夫をする

2-2 各種交流会（げんすけ Bar、lunch、お茶会）／FR

パートナーや、わおん♪に関心のある人が気軽にあつまり交流できる企画

えんぱーく等を会場にして実施

わおん♪で実施してみたい企画の募集などもおこなう

開催頻度は今後検討していく

2-3 出張げんすけ＋げんすけ縁日／コラボ企画・ブース出展

さくらフェスタ等、各種イベントに出かけて、わおん♪のブースを出展する際に、昔あそびを体験できるげんすけ縁日を実施する

げんすけのみが出かける出張げんすけも引き続き実施

松本市のイベント情報をつかみ、積極的に参加する

他団体ともコラボしながら、げんすけ縁日を開催していく



2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

森カフェを全国に広げていくための企画を考え、実施する

出張森カフェでは、地域の社寺林や畑など身近な場所で森カフェを開催し、地域コミュニティ再生のきっかけにする

他団体ともコラボしながら、森カフェをPRする

2-5 里山子育て・子育てセミナーの開催

元気づくり支援金助成事業の一環として、子ども・自然関係のセミナーを開催する（外あそびや体験の意義／自然の魅力）

セミナーの2日目は、実際に親子でセミナー内容を体験できるようにする

対象：子育て中の保護者／自然に関心の高いシニア

2-6 関係ネットワークへの参加

信州外あそびネットワーク、木育フェスティバル実行委員会、中信地区環境教育ネットワーク、えんぱーくらぶ、ハッピーハロウィーン実行委員会、地域づくりネットワーク等、わおん♪のミッションに関係するネットワークへ参加し、情報の共有を図る

（3）体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座

さまざまな場所で森カフェを開催できるように、森カフェコーディネーターを増やす

開催地域を検討し、年2～3回程度開催するほか、他地域・団体からの養成講座開催の希望にも応えていく

3-2 サポーター向け勉強会

わおん♪のミッションや各事業の目的などを伝え、ステップアップを図る

リスクマネジメント等、活動に必要な情報・スキルを共有する

対象：わおん♪パートナー

（4）地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行

月1回さまざまな場所で森カフェを開催できるように、森カフェコーディネーターを増やす

テキストを製作し、それをもとに養成講座を開催する

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



4-2 活動の動画配信

わおん♪の活動を撮影し、YouTube等で発信する
スタッフが集まった場合、しおじり.iBCによるインターネット放送を復活

4-3 げんすけがゆく

年に1度程度の発行を検討
内容を自然、子ども、外あそび等わおん♪の活動に関係のある分野にしぼる
わおん♪イベントカレンダーとの合作を検討していく

(5) 地域の物産開発ならびに販売事業

5-1 げんすけグッズ／FR

塩尻市内の店舗での販売
(現在はモナミいわさ、温(ぬっく)、マルナカにて販売中)
※観光案内所、チロルの森等での販売も検討中
BASEを活用して、WEB上で販売(<http://waon.base.ec/>)

5-2 こどもたちの元気の源「元源ブランド」づくり／FR

子どもの体験活動に関心のあるメーカーと協力し、販売の一部を子どもたちの体験活動に寄付する「元源ブランド」を提案していく

(6) 地域課題解決のための企画運営事業

6-1 出前イベント(ワークショップ)

依頼があった際に、ファシリテーターを派遣する

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業(運営管理)

・企画会議

わおん♪でやってみたい企画アイデアを出す機会を設ける
各種交流会に兼ねて開催することを検討

・広報

会員・パートナー／イベント参加者／出前イベント／寄付者を増やすことを
目的に広報に力を入れる
パンフレットの配布、Twitter・Facebookの更新、主に松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売やげんすけリンゴの販売、げんすけ Bar を実施
その他、新規企画実施の際はその企画に向けたファンドレイジングを行う

・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行
わおん♪会員通信を隔月で発行
森カフェ、げんすけセミナーへの参加割引
わおん♪の活動へスタッフとして参加可能 ※サポーターは非会員でも OK
（サポーターから、リーダー、ディレクター、コーディネーターになれる）

・会員募集

広報の一環で力を入れていく

・管理（顧客・備品）

セールスフォースの導入（勉強会等への参加）

・会計

引き続き、会計王を活用
理事会等で定期的にチェックをしていく

・事務（法人事務）

事務局体制を見直していく
拠点となる事務所を検討する
（もしくはクラウドサービスを活用して、情報共有しながら仕事をする）
※書類データ：Dropbox 写真データ：box 遠隔会議：appear.in
日々の情報共有：Facebook グループもしくはセールスフォース
顧客情報等：セールスフォース

memo

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

